

2017年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部 国際社会科学学科 2年(留学年次)
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 高麗大学 学部学科指定なし
原則 公開	学籍上の 留学期間	2017年 3月 2日 ~ 2017年 8月 31日 出国日: 2017年 2月 20日

留学の状況について、各項目について書いてください(合計1,500字以上)。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感(第1・2回目報告書記載)について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学当初から目標にしていたように積極的になにごとにも挑戦することが大事なのだと留学を終えてからも実感しています。留学先で行われた交流プログラムが私自身にはあわないと感じたので、他の交流会等に積極的に参加し、交友関係を築きました。留学というのは手段であって、留学先でなにを目標に動くのかは個人の意思が大きく影響すると思います。そこからなにを得られるか、留学期間を充実したものにするか変わってくると感じました。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

語学力は現地にいってからいくらでも伸びるように感じましたが、友人から尋ねられてすぐ答えられるように日本社会に関する知識をもっと身につけていけばよかったと実感しています。留学先の大学では、質疑応答などが活発な授業もあったので自身の専攻(経済、経営)における日本の現状や韓国と関わる政治についての知識はあらかじめ必要だったと感じます。また、私の場合は留学期間が半年と短く、時間があまりなかったのですが、韓国の地理についてももう少し調べていき、国内の旅行を行なうべきだったと感じています。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

留学先大学である高麗大学の授業では学生の主体性が日本よりも強く、授業内、授業後の質疑応答も活発です。特に国際関係の授業では帰国子女の学生も多くいます。ただし、韓国の大学全てにいえるとは思いますが履修登録が大変で、交換留学生向けの英語で開講される科目はすぐに埋まってしまうので、英語で開講される科目を受講したいならば教養科目ではなく、専攻のものを選ぶほうが確かだと思われます。また、高麗大学の中でも質が高く人気が高い授業、そうでない授業があるようなので知り合いがいれば事前に情報収集を行うべきだと思います。

韓国語を学ぶ語学の授業は交換留学生だけでなく、正規の留学生も選択でき、倍率が高いので希望のレベルや授業を受けられない場合があります。2017年春学期は留学生の管理を行う部署が昨年度とは変わったため混乱が起きました。履修申請が受理されていなくても事前にメールで受講の意思を示していれば、後々申請が受理されたりとかなり適当な印象でした。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

高麗大学はソウルでも中心から少しはずれた場所に位置し、勉学に集中できる大学だと思います。キャンパス自体は広すぎず小さすぎず移動も楽で、どの棟も清潔に保たれています。自習室の数も多く、図書室も複数あるのでどこにいてもなにかしらの自習に励む高麗大生を見かけることができます。食堂はあまり利用しませんでした。確か2つほどでどちらも安く食事を行うことができますが、味は人を選ぶようです。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

夏季休暇期間中に韓国語の語学補習講座が行われます。具体的には前学期に使用していたテキストで授業時間内にできなかった分を行う形になりますが、テキストを準備できればどのレベルに参加しても大丈夫なようです。4週間、月曜から木曜の週4日で時間は午後2時から5時の3時間（休憩時間を含む）です。講座の費用は基本的に無料ですが、欠席が3回以上、もしくは最終成績が70%以下で罰金20万ウォンが課せられます。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

留学生向けのサークルとして高麗大生が運営するKUBAが存在し、この団体が留学生のオリエンテーションや文化体験を実施しています。グループ分けされていて、交換留学生は留学してすぐにグループごとに開催される食事会などに参加できます。基本言語は英語なので、韓国語を使いたい学生にはあまり向かないものです。しかし、高麗大学の学園祭である Ipslenti といった行事のチケットはこの団体が留学生向けに手配を行うなど大変助けになることも事実です。また、日常生活で困ったことがあればこのKUBAで割り当てられたバディに尋ねるようにと高麗大学側は配慮しています。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

高麗大学から支給される交換留学生向けの奨学金は、複数あります。それぞれ応募条件が異なるので自身の状況にあったものを選ぶ必要があります。私は Global KU Scholarship の KU Travel Scholarship へ申請しました。応募条件は、変更がなければ学習院大学での総合成績が 3.75 以上、英語もしくは韓国語が流暢であることです。（言語能力については証明書などは不要で、応募用紙に記入する欄があるのみです。）50 万ウォンが支給されました。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

高麗大学が位置する安岩は、高麗大学以外に主要なスポットもなく、学生街の印象が示すように治安もいたって普通です。夜も飲食店が数点開いており、帰りが遅くなっても不安になることはないと思われます。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

特になし

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Principle of International Commerce	国際貿易論 (2)
Principle of Economics	International Economics (2)
Korean Speaking for Beginners II	なし
Regional Economy and Japan in the Global Age	Japanese Economy (2)
Sociology of Labor	なし

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 50 万ウォン、(日本円) 約 5 万円

(3) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 (外食)

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

寮の施設は整っていて、清潔感があった。しかし、食事面に関しては近くのカフェテリアの値段が少し高めに設定されていたこともあって不便だった。

4. 費用について

(1) 学 費

交換留学のため学習院大学の学費を納めました。

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 往復約 6万円 (シーズンにより異なる)

(3) 生活費

(現地通貨) 月額 約 80万ウォン、(日本円) 約 8万円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

国際ブランドプリペイドカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 (高麗大学の学生証に付随するデビットカード)

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

現金を持ち込み、両替したものを高麗大学で作成した銀行口座に入れ、学生証にデビットカードがついているのでそれを日常生活では使用していました。韓国はカード社会なので、デビットカードを使用することで小銭などの管理をする必要がなく楽でした。しかし、現金払いで割引となる店舗もあるので現金もいくらかは常に携帯していました。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

学習院大学開学留学奨学金は受給していませんが、国際社会科学部 中長期海外研修援助金 (15万円) は大学の寮への滞在費にあてました。

5. 保険について

(1) 保険会社名

ジェイアイ傷害火災保険株式会社

(2) 保険料

60,120円

(3) 加入した保険の種類、内容

リスク細分型特定手続用海外旅行保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

けが等をしなかったので保険は活用しませんでした。全ての手続をインターネット上で終えることができ、様々な補償を選択できる点がいいと思います。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ()

(2) 持って行って良かったと思う物

現地で購入ができるものが多いのですが、細かいものでも出費が重なると大変なので必要最低限の文房具や生活用品は持って行ってよかったと思います。

電気毛布。韓国の2、3月はまだかなり寒いので寝るときに体を温めるものがあつたほうが良いと思いました。持って行って長い間重宝しました。

青汁。普段の食生活が偏ってしまうため、野菜の分をおぎなえるようなものが必要だと感じ

ました。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

韓国語学習の本。現地の書店や大学の書店でも日本人向けの韓国語学習本が多くでており、帰国時に荷物になってしまいました。

服。実際にあまりもっていかなかったが、現地で購入すればいいので持っていなくてよかったと思いました。

(4) 持って行けば良かったと思う物

日本のお菓子。現地でも売っていますが高いです。日本に興味のある友人に渡すと喜んでくれると思いました。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

日中は授業を受け、時間が余れば図書館等で自習。夕方から夜は友人と食事などで外に出かけていました。高麗大学の位置する安岩はチェーン店や個人営業など様々な飲食店があり、食事には困りませんでした。

私はカフェが好きだったので、友人と新しいカフェを開拓したり、一人で行って課題をやったりしていました。

(2) 週末

活動に参加していた学生団体の総会に参加したり、友人と美術館などの観光スポットに行ったりしていました。何かしら予定をいれて、動いていたので食事はほぼ外食でした。

8. 後輩へのアドバイス等

どんな言語にも共通することだとは思いますが、韓国語を思う存分使ってみてください。高麗大学は英語も韓国語も使うには絶好の機会を提供してくれる大学だと思います。ただ、大学が提供する情報が曖昧だったり、適当だったりするときがあると思います。そんな時はおそれず職員や担当者に確認してください。

素敵な留学を送れるよう祈ってます。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。